

## 日本初の全国地形図 (2) : ナウマンの「日本高度階分布地図」

<山田直利<sup>1)</sup>・菅原義明<sup>2)</sup>>

原田豊吉による日本地形図の出版から4年後、元地質調査所技師長のE. ナウマンはドイツで下図のような日本の高度階分布地図を発表した (Naumann, 1893)。原図の縮尺は260万分の1。標高200 m, 400 m, 600 m, 1,000 m, 2,000 m, 3,000 mの等高線により7つの高度階が区分され、それらは淡褐色から濃褐色へ、そして黒色へと段彩が施されている。本図の基となったデータは原田の前掲図と同じであったと思われるが、山地・河川名などはほとんど省略され、等高線が適切に選択され、段彩方式が採用されたことによって、山脈・平野・盆地の分布などがより立体的に示されている。本図は山下 (1996) やフォッサマグナミュージアム (2005) にも載っているが、それらはモノクロ図または部分図であった。産総研地質情報センター地質・衛星情報アーカイブ室の収蔵品から複製。約2分の1に縮小。

### 文献

Naumann, E. (1893) Skizze der Orographie von Japan. Neue Beiträge zur Geologie und Geographie Japans, III, *Petermanns Geographische Mitteilungen*, Ergänzungsheft no. 108, 37-45.

山下 昇 訳 (1996) 日本地質の探求—ナウマン論文集—。東海大学出版会, 東京, 403p.

フォッサマグナミュージアム (2005) 資料集「ナウマン博士 データブック」。糸魚川市教育委員会, 120p.



1) 元 地質調査所員  
2) 産総研 地質調査情報センター

YAMADA Naotoshi and SUGAWARA Yoshiaki (2013) A review of the first topographic map of Japan (2) . "The altitude-layer map of Japan" by E. Naumann (1893) .